



さんりんしゃ 三輪車



ニッキー

八千代市立新木戸小学校
《校長室だより》
発行：校長 寺田 好江
平成31年度 第 5号
平成31年 4月26日

【学校教育目標】 自らの可能性を拓く子供の育成

4月23日は「子ども読書の日」



きらら
ひとり人形芝居雲母さん
カエルの「ミート」と共に



4月23日は「子ども読書の日」です。「子ども読書の日」は、子供が積極的に読書活動を行う意欲を高める目的で、平成13年に定められたものです。

昨年度に引き続き、本校では4月24日（水）に「子ども読書の日」集会を開催し、プロのひとり人形芝居・雲母（きらら）さんをお迎えし、全校児童に読み聞かせをしていただきました。

今回は日本の民話「やまんばのにしき」という昔話を読み聞かせしていただきました。どの子も、すぐにその世界に引き込まれてしま

ったようで、スクリーンに映し出された挿絵を見ながら、身を乗り出して耳を傾けていました。9月には1・2年生対象に人形劇公演もして下さる予定です。



また、全校児童のために、水曜日の「朝読書」の時間に読み聞かせをしていただいている、ボランティアサークル「ききみみうさぎ」のみなさんの紹介もさせていただきました。保護者の有志の方により発足し、今年で20年目を迎えます。5月からの読み聞かせが、今から待ち遠しいです

読書は、「頭や心の栄養になる」という話をしました。まず、本を読むと賢くなります。知らなかったことを知ったり、わからなかったことがわかるようになるからです。また、色々なところに行けたり、色々な人になれたりもします。そして想像する力もついていきます。

まるで自分が経験しているような気持ちになったり、本の中の色々な人の気持ちを味わったりすることで物語の中だけでなく、自分の周りの人の気持ちもわかり、思いやりのある優しい気持ちが育ってきます。新木戸小の子が、さらに読書が大好きな子に育ってくれることを願っています。

また、全校児童のために、水曜日の「朝読書」の時間に読み聞かせをしていただいている、ボランティアサークル「ききみみうさぎ」のみなさんの紹介もさせていただきました。保護者の有志の方により発足し、今年で20年目を迎えます。5月からの読み聞かせが、今から待ち遠しいです

「いのち」を守るために！

4月25日、八千代警察署の方に来校していただき、1年生対象の「防犯教室」を行いました。「いかのおすし」という防犯標語を学校では使います。これは、全校の子供たちが知っている合い言葉です。この機会にぜひ確認してみてください。

いか・・・いかない（知らない人や危ない所に）

の・・・のらない（知らない車や誘いに）

お・・・おお声でさげぶ

す・・・すぐにげる

し・・・しらせる



10連休になります。自分の命が自分で守れる子になってほしいです！